

「Chic Line(シックライン)」とJIS管の接続について

●ストレート部での接続例

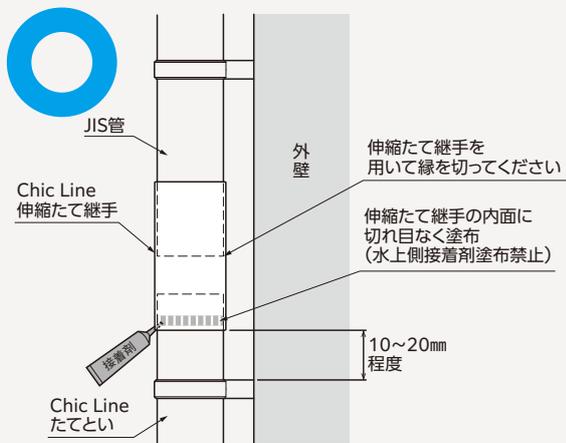
【接続時の注意点】

Chic Line と JIS管 を接続するには以下のポイントにご注意ください。

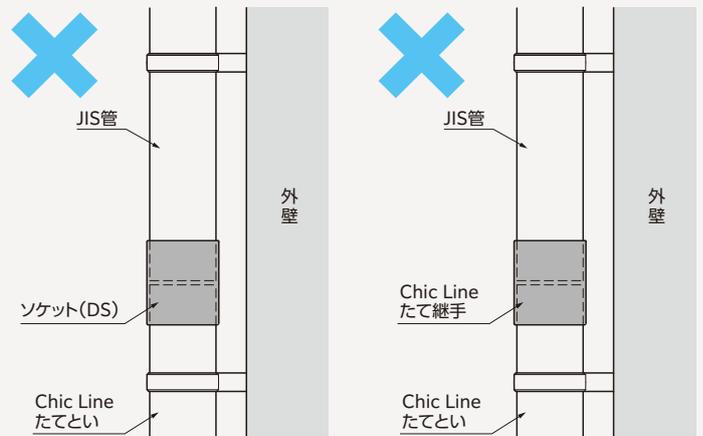
- ・色味、質感が異なります。
- ・耐候性が異なります。
- ・温度変化に対する特性が異なります。

接続を行う場合は以下の例のように、縁切りを行ってください。

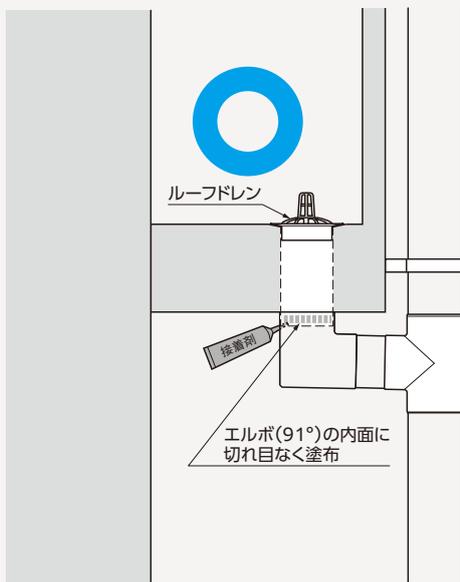
OK施工



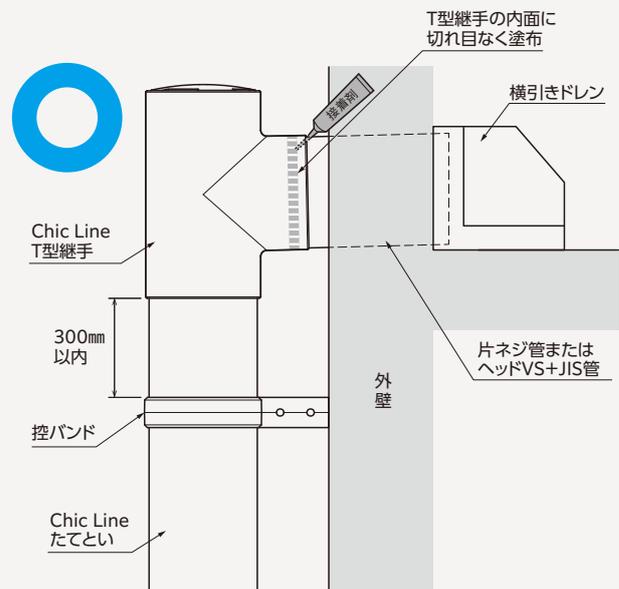
NG施工例



バルコニー床部納まり例



陸屋根納まり例



※必ずChic Line用接着剤(KAL8925)をお使いください。
※ルーフドレン・片ネジ管は現地調達してください。

「Chic Line(シックライン)」高排水システムについて

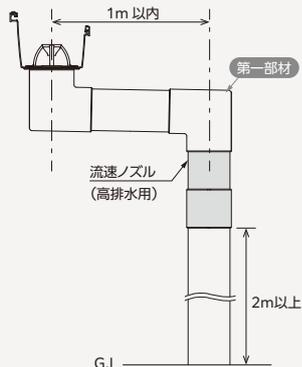
●流速ノズル使用について

流速ノズルの位置と合流に関して、注意が必要です。
詳細は製品に同梱の施工上のポイント等をご参照ください。

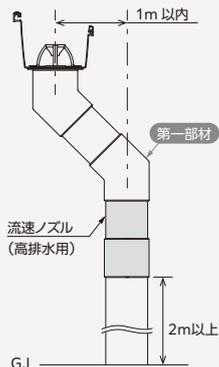
●高さ制約について

必ず第一部材の直下に取り付けてください。
第一部材とはたてといのストレート部で最も水上側に位置するエルボ等の接続部品のことです。

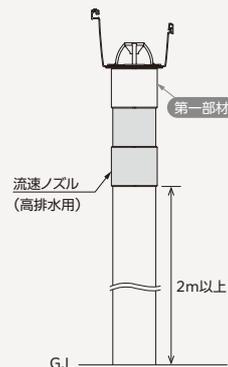
【エルボ91°の直下で使用の場合】



【エルボ135°の直下で使用の場合】



【ドレンの直下で使用の場合】



●合流を伴う納まりについて

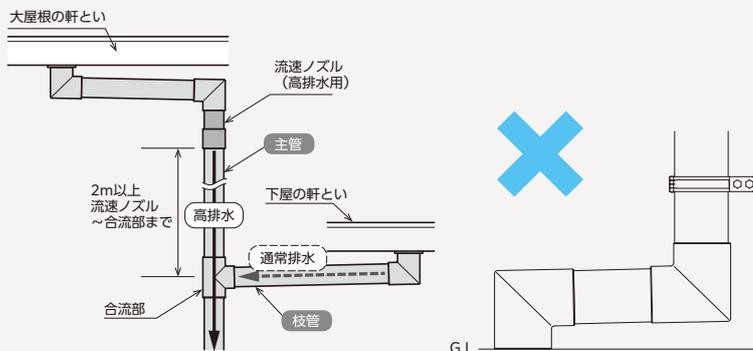
- ・合流の際は主管の流量に対して、枝管の流量を半分以下の割合にしてください。
- ・排水合流時にG.L.付近での横振り施工をしないようご注意ください。
- これらを守らないと、合流部からオーバーフローしてしまう場合がございます。

【排水の総量】

主管 (大屋根排水)	+	枝管 (下屋排水)	<	主管 高排水での たてとい 限界排水能力
				89 11.4L/s
				114 18.8L/s

【排水量の比率】

2	:	1以下
主管 (大屋根排水)		枝管 (下屋排水)



●埋設部の納め方について

直接埋設管には繋がず、一度ますに排水してください。
また、高排水により排水の勢が強くなるため、以下の図を参考に現場に応じて納め方をご検討ください。
なお、埋設部にてDLエルボはお使いにならないでください。
ますや埋設管のサイズは落し口1個当たりの排水量に応じたものを設定してください。
本システムは埋設管の排水能力を高めることはできません。

●納まり上の注意点

